

2024.02.11. 他人の信用を失墜させようとする者は、自分自身の信用を失墜させる

ユダの手紙 1 章 8 節から 10 節

JD ファラグ牧師

一緒に祈りませんか？ 主よ、その日が待ちきれません。勝利を賛美し叫びます。しかし、主よ、その日が来るまで、私たちが聖霊で満ちし続けてくださいますか？ 主よ、私たちが教え導かれ、先をお進みください。特に、今ここ、あなたが祝福されたこの美しい教会の席で、御言葉を通し私たちが教え導いてくださいますか？ 主よ、この時間が無駄な時となりませんように。主よ、私たちは感謝します。J.D.牧師の上に祝福を。彼を強め導かれ、彼の家族を守り、見守り続けてくださいますように。イエスの御名によって祈ります。アーメン。アーメン、アーメン。

おはようございます。ようこそ。ご着席ください。来てくださり大変嬉しいです。オンラインの皆さんも参加くださり大変嬉しいです。時間の都合上、宣教活動と祈りの最新情報の代わりに、火曜日夜の祈り会の動画を紹介します。私たちのホームページと SNS から全編ご覧いただけます。すぐに本題に入りたいたからそうします。理由は、今日は、3 節を学ぶからです！ はい、わかっています。はい。一拍手ー

わかっているでしょ？ 私たちは進んでいます。1 節、1 節、2 節、3 節。それで今日学ぶのは、8 節から 10 節。可能であれば、ご起立いただき、私が朗読するのについて来てください。ご無理なら、座ったままでも結構です。8 節から始めますが、聖霊に導かれユダが続けて語るのは、キリストを否定し、キリストから人々を遠ざける者たちが、気づかれずこっそりと忍び込んでいるという警告です。私は、彼らを“偽インフルエンサー/影響者”と呼びます。当時のキリストの体に不当な影響力を与えたからです。そして、それは現代にも当てはまります。ですから、今日の箇所の背景を説明したかったのです。8 節から、ユダが書きます。

ーユダ 1 : 8ー

それにもかかわらず、この人たちは同じように夢にふけて、肉体を汚し、権威を認めず、栄光ある者たちをののしっています。

ーユダ 1 : 9ー

御使いのかしらミカエルは、モーセのからだについて悪魔と論じて言い争ったとき、ののしってさばきを宣言することはあえてせず、むしろ「主がおまえをとがめてくださるように」と言いました。

ーユダ 1 : 10ー

しかし、この人たちは自分が知りもしないことを悪く言い、わきまのない動物のように、本能で知ることによって滅びるのです。

ご一緒に祈りましょう。主よ、2000 年近く後の私たちのためにこの聖書にある御言葉をあなたがユダに書かせられたのには理由があられます。主よ、今朝、あなたの御前で姿勢を正します。私たちの聖書にこのような箇所がある理由を明らかにしてくださいますように。あなたが私たちにここで見せられたいことは何ですか？ 聞かされたいことは何ですか？ 主よ、今日、御霊があなたの教会に語られることを私たちが聞く耳を持ち、見る目を持つ者の 1 人に数えられますように。ですから主よ、聖霊の静かな小さな精錬された鋭い御声で語ってくださいませんか？ 主よ、語ってください。あなたのしもべたちは聞いています。イエスの御名によって、アーメン、アーメン。

ご着席ください。ありがとうございます。今日、話す必要があるのは、非常に深刻な問題についてで、

『他人の信用を失墜させようとする者が、結局は自分自身の信用を失墜させることになる』こと。

いつもより少し時間をかけるのをご了承ください。日曜日の箇所を教えるにあたり、主を求めるための多くの時間を費やさないという意味ではなく、今日の日曜日のこの箇所もそうでした。私は本当に主を求めました。一読の時、私はこの箇所を知っていて、何が書いてあるのかわかっていたからです。常に先を読まねば

ならないのは、私は牧師だからで、神は私を牧師として召されたのだと思いますが、私が昔々その昔、遠い遠い国でこう祈ったからです。

「おお、神よ、私はあなたの御言葉の人になりたいのです。」神はこんなふうに、「OK。あなたを牧師にします。あなたはわたしの御言葉にとどまります。」ですから、私は主の御言葉の中において、主の御言葉は私の中にあります。私が聖書を調べると、聖書が私を調べます。この特別な箇所、私は主に尋ねます。「主よ、それは何ですか？ それはなぜですか？ユダが、、、」なぜなら、理解ください。ユダは手紙を書きたいと望み、私たちすべてに共通する救いについてこの手紙を書き始めました。こんなことさえます。「私は救いについて手紙を書くことを本当に楽しみにしていました。(3節)そして、主がそれを止められ、突然、急なこの角を曲がせられました。私たちに共通する救いについて書く代わりに、あなた方の中に、こっそりと忍び込む狼たちへの警告について書かねばなりません。」

「使徒の働き」20章で、パウロが語り記録し、公言した通り、時にはあなた方の間から出ます。パウロは3年間、昼も夜も泣き続けました。

**「私は知っています。私が去った後、狂暴な狼があなたがたの中に入り込んで来て、容赦なく群れを荒らし回ります。」(使徒 20:29)**

弟子たちを彼らに引き寄せ、キリストから遠ざけます。ですから、ユダは事実上、この警告を反復し、それが神の靈感を受けたこの手紙がユダから私たちの前にある理由です。しかしながら、非常に興味深いのは、、、と、ところで、来週は私がこれを話したら来なければなりませんよ。まあ、大変古い言葉を使うことになるけど、構いません。気に入らないなら、橋を架けて乗り越えてください。ヤバイ/厄介です。ほら、言いました。来週はもっとヤバく/厄介になります。ユダがこの者たちを何と比較しているのかわかります。でも目の前のことに対処せねばなりません。私たちの目の前にあるのは、ユダが言うところの「夢にふける者」だからです。「夢にふける者たち」とは？ おお、その者たちは忍び込んできました。忍び込む者です。彼らは教会に忍び込み、こう話し始めます。「私は幻を見て、神が夢を与えられました。」これから見ていくように、彼らはそれを重んじ信頼し、すべての権威をそこに置きます。それが神の語る御言葉の権威に取って代わります。新約聖書のギリシア語では、「言葉」には2つの単語があります。神の「御言葉」に。

ロゴス：それは書かれた言葉です。レーマ：それは語られた言葉です。「夢にふける者たち」は、、、夢見る人と思わないでください。「おお、夢を追いかけているんだね。」違います。彼らは、どうやら夢や幻を神から与えられたとする者たちです。「私はふさわしくない〜。」「神よ〜、、、(大抵こんな感じです。)神が私に夢で示されました。」「わお。神があなたにそれを示されたのですか？」「そうです。」「主が私にそれを示されたらと願います。」何か、、、ちょっとずれました。戻します。誰かがこう言います。「神は私に、あなたへの言葉を示されました。」「うお、、、」「神は私にこう語られました。」「神があなたに語られた？」

「はい。これはあなたについて。」「神があなたにそれを私について語られた？ 神が私についてをあなたに示された？ なぜ神は私のところに来られないのですか？ なぜ主は、あなたを通してなの？」その理由をこれから見ていきます。彼らは姿勢を構え、自分たちが最終的な権威であるかのように思い上がるからです。また、ちょっと先走りすぎましたけど、前置きしたいのは、これはあらゆる基準によるからで、ユダ書のこの箇所は、間違いなく難しい箇所の1つで、聖霊が私たちの理解の目を開いてくださることが本当に必要です。カポノが祈ったように、御言葉を共にする時が時間の無駄にならないように。私たちの誰もそれを望んでいないと思います。今、ユダは聖霊に導かれ直接語り、具体的に、しかも単刀直入に語ります。この極めて深刻な問題に対して。扇情的に聞こえないことを願います。そういうつもりはありません。しかし、これは非常に深刻です。何がそれほど深刻なのか？ ユダの時代と同じように、こんにちも健在です。再び、偽インフルエンサーと呼びます。彼らはインフルエンサー/影響者です。彼らはクリスチャンに不当な影響を与えます。実際、彼らはそれでかなり成功し、非常に上手いです。彼らは何が上手いのか？ 彼らは誹謗中傷キャンペーンを仕掛けるのが得意です。誹謗中傷キャンペーンの意味が何かわかりますか？ 他人の信用を失墜させ、人格を滅ぼそうとします。誹謗中傷/名誉毀損です。問題はここからです。神よ、ありがとうございます。ユダよ、ありがとう。それが裏目に出て、かえって信用を失い、滅ぶのは彼らだからです。これは「箴言」26章27節です。読みます。

**一箴言 26:27**

## 穴を掘る者は、自分がその穴に陥り、石を転がす者は、自分の上にそれを転がす。

十分注意してください。今朝、車を運転しながら考えていました。主と私は素晴らしい対話をしました。主は、私がこの説教壇の後ろに立つ前に、私と対話し、話しかけてくださいます。私はただ主に尋ね、主に話しかけ、主は私に話し返されます。ところで、祈りとは対話であり、独り言/独白ではありません。神はおもに御言葉で、また御言葉を通して語られます。私たちは祈り、神に語りかけ、神は私たちに語り返されます。私は、どのように神の御言葉は両刃の剣であるのかを考えていました。それはどちらからも切れます。誹謗中傷キャンペーンを受ける側にいる人たち、心を強くしてください。誹謗中傷キャンペーンの加害者たち、気をつけなさい。そこで置いておきます。あとは聖霊にお任せします。それほど深刻な問題なのです。ここにいる私たちの中で、誹謗中傷キャンペーンを受けたことのない人は一人もいないと思います。誰かが私たちに濡れ衣を着せ、私たちに対する誹謗中傷キャンペーンを展開し、不当に私たちの信用を失墜させようとする。付け加えるなら、傷つけるほどに。それは傷つきます。それどころじゃありません。何でしたっけ？ 韻を踏むと、「棒や石は私の骨を砕くが、言葉は決して私を傷付けない。」誰がそんなことを思い付くんですか？ 言葉は傷つけないって？ 言葉はメチャクチャにします！ 私は棒と石の方がいいです。そこからは回復できます。はい。でも言葉は？

### 「死と生は舌に支配される。どちらかを愛して、人はその実を食べる。」(箴言 18:21)

人を殴り切りつけ殺し、人を殺害する。ヤコブ (3:5) に聞いてください。これと共に、、、重さはわかりません。気にしませんけど、しかし、私たちの口の中にある小さな肉の器官。舌と呼びます。歯があるのには理由があります。まだ歯があるなら、それはまるでものを中に保つ拳のようなものです。それが飛び出ると、大火災を引き起こし、壊滅的な被害をもたらすからです。それが彼らがしていたことです。さて、これから見るのは、彼らがそれを行った方法です。ですが、その前にもうひとつ。最も生々しい例のひとつが「エステル記」にあり、悪魔に取り憑かれたハマンという名の男。彼を覚えていますか？ その記述をご存知ですね。この男は非常に邪悪で、ユダヤ人を根絶やしにしようとし、その中でもモルデカイを突き刺すための絞首台を作りました。絞首刑を思い浮かべないでください。これがいかに邪悪か似ても似つきません。ハマンはこの絞首台を作りました。それらは鋭く、つまり、それらは、、、高さが何メートルかは忘れてました。一部の聖書注解者が示唆する通りですが、しかし、それは高く、人を突き刺せるように尖っていました。言い過ぎですか？ これが起きたこと。これは、ハマンがこのモルデカイのために作ったものです。誰かを連れて行き、私たちが絞首台として見るこれに突き刺しました。それらは絞首台ではありません。突き刺すのです。「エステル記」7章10節によると、ハマンは、自分が建てた絞首台に自分が突き刺されることとなります。モルデカイを滅ぼそうとして失敗したからです。それがユダがここで書いていること。彼らはあなたの信用を失墜させ、滅ぼそうとし、あなたに築いた絞首台であなたを突き刺そうとします。ええ、滅ぼされるのは彼らです。裏目に出るからです。あなたは誰かの信用を失墜させようとしていると、最終的に失墜するのはあなたです。それが私たちがこれから見ることです。では、今日の私たちの箇所に入ります。私たちには3つの方法があります。それは、この世の悪魔的なハマンで、ユダはこう呼びます。

「夢にふけり肉体を汚す者」が：他人の信用を失墜させ、滅ぼそうとします。聞いてください。先に進む前に、今日、私たちの前にある箇所の力強さは、私たちがこの箇所に注意を払うべき深刻さのレベルを証明します。同じことを別の言い方で言います。これが非常に深刻で重要なレベルにまで高まるのは、明けても暮れても、毎日、一日中私たちはこの生活を送るからです。さらに悪化しています。特に教会において。因みに、SNSを見れば一目瞭然です。これは非常に悪魔的で分裂的で、大変邪悪です。ここに、、、もっとありますけど、私は“ビッグ3”と呼ぶことにします。自動車の比喻を借りて。順番は以下の通りです。

1つ目：権威を認めない。(8節)

2つ目：中傷的非難。(9節)

3つ目：虐待的いじめ。(10節)

これがビッグ3です。まず一つ目から始めます。8節の「権威を認めないこと」。ユダは、このような人々が夢や幻の権威を利用する手段について言及しています。「神が夢で私に語りかけられました。」「わお。」「神が私に幻を与えられました。」「わお。」問題なのは、それが神の御言葉の権威に取って代わること。そういう

人々が神の御言葉を教えること。本当にそれを見て、その層を剥がせば、起こっている事態は、彼らは神の御言葉の権威を認めない。個人的に受け取らないでください。彼らは、汚れて墮落し曲解したいいわゆる夢を使います。最終的な言葉として、ひいては最終的な権威となるように。わかりますか？ 自分が最終的な権威になるためには、現権威を失脚させねばならないのでは？ 確立されている権威を拒絶する必要があります。この場合、神そのものを。神の御言葉そのものを、です。自分は今、競争の中において、神の御言葉の権威を疑わねばなりません。この諺を聞いたことがありますね。「すべてを疑え。」気を付けてください。「全てを疑え。」全ての世代にいるのも不思議ではありません。権威を尊重しないだけでなく、認めない世代もいます。彼らは権威を顧みません。権威を認めないだけでなく、権威を疑います。これは非常に邪悪です。覚えておいてください。

悪/E-V-I-Lは、生(生きる)/L-I-V-Eの逆です。正反対です。これらは邪悪な取り組みです。何が悲しいかというと、彼らは一定の成功を収めています。しばしば、彼らは、神を飛ばして最終的な権威となり、神の代わりとなります。

例：教会の中に入り込み、不当に影響を与えます。それは非常に狡猾で、しかし、彼らは、教会の指導的権威と確かに牧会者の指導的権威を疑います。ですから、指導者の権威に疑問を投げかけ、疑念の種を植え付けます。神が定められた権威に、ですよ。ひとたび疑問を抱くその種が植えられ、思いというしなやかな土壌と出会えば、発芽し、芽吹きます。そしてそこから生まれるのは、権威に服従せず、争いという苦い実です。これに注目ください。彼らは、神の定められた権威を認めず、そして、その権威を、自分たちが影響を受け、影響を受けた人物に置き換えます。もう一度してみます。大変長い週でしたから。彼らは自分たちが権威であると構築したいのです。ですから、彼らは人々を集めて.....

「おお、彼らはそれについて何か言わねばならないことがあるのかしら。おお、彼らが最終決定権なのか？ おお、最終決定権を持っているのか？」ちょっと待って。神の御言葉が最終決定権です。で、私のところに来て、こう言います。「はい。神は私に示されました。あ〜だこ〜だあ〜だこ〜だ。」それがすべてです。「あ〜でこ〜であ〜でこ〜で。」神の御言葉を見て、こう言います。

「これは実に興味深いね。それは神の御言葉で神の御言葉が語られることではないから。神の御言葉はこう語っていません。あ〜だこ〜だあ〜だこ〜だ。」「はい、でも神が私にこう示されました。結婚せずに性交渉してもOK。」「わお、神がそれをあなたに示されたのですか？」「はい。神が私に語られました。」「神があなたに語られた？ 神があなたに仰ったのですか？ はい、それは神ではありません。」

(聖書)これがすべてを測る基準だからです。(聖書)これがリトマステスト/判断基準ですべてが試されます。あなたが夢や幻とともに私のところに来るなら、「私はただそのように感じます。私は感じるんです。」「感じる?」♪ フィ〜リングス♪ ごめんなさい。それはフラッシュバックでした。おお、私たちは信仰ではなく感情で生きているのですか？「私はただ神のように感じる...」「神のように感じる？ 感じる?」ヤコブにそれについて聞いてみたらどうですか？ 覚えていますか？ イサクとエサウのこと。待って。間違ってますか？ 二卵性双生児は誰？ ヤコブでした。はい、ヤコブとエサウです。違います。イサクは父親でした。わお。なんて長い週だったんだろう。どうか私にやさしく慈悲深くしてください。本当に大変な週でした。はい、それが私の話でとにかくそれにこだわっています。はい、イサクが父親ですね？ イサクは死が近い。すでに基本的に目が見えません。イサクは死ぬ前に祝福を与えようとします。中東の文化では、私の文化でも、それがすべてです。それが後継者です。父親が死ぬ前にあなたが祝福を受ける時、あなたは今、全兄弟、全家族に対して、あらゆる領域で、特に経済的な面で責任を負います。イサクは、まさにエサウを祝福し、祝福を与えようとしています。それを聞いた母親が息子ヤコブに言います。「こちらに来なさい。父さんはあなたの兄に祝福を与えようとしています。実際、エサウは私たちがこう話している今、父さんの大好物の鹿肉を獲るために狩りをしています。私が作り方を教えたのよ。で、私たちはこうしましょう。私たちが、、、、それを作るの。私は父さんの好みがよくわかっているから。エサウがいないうちに、それを持って行き、彼が戻ってくる前にお前が父さんから祝福を受けなさい。」

で、ヤコブがこう言います。「母さん、兄さんは本当に毛深いけど、、、」いえ、それは、、、つまり、体中に毛が生えていて、、、それは言いすぎですね。で、母親は何をするのか？ 母親は毛を手に入れヤコブの腕につけました。私はこれで話の向かう先があります。まとめますからご辛抱ください。で、母はこの鹿肉を料

理し、ヤコブにその毛をくっつけて、彼女がどうしたのかはわかりません。かなりクリエイティブです。母はヤコブが祝福を受けるために、ヤコブをエサウに偽装させ、ヤコブの腕に毛をくっつけました。それでヤコブが行きます。父イサクは目が見えません。「おお、良い匂いだ、、、そして、イサクは間抜けじゃありません。私はその言葉が好きです。聖書に書いてあります。「箴言」12章1節：「間抜け者」。私はそれを言うのが好きです。イサクは賢いんですね？ それでイサクは、「ちょっと待て。どうやって、、、どうしてそんなに早く戻れたのか？ もっと時間がかかるはずなのに。」ここでヤコブが慌てる場所ですね。「おお、これです。父さんの好きな鹿肉を料理しました。イサクは感覚を使い始めます。その匂いを嗅ぎます。「ああ、いいね～。でも、いや、ちょっと待て。お前はやはり、、、ヤコブの声のようだ。エサウじゃない。もっと近くに寄りなさい。お前を感じれるように。」で、ヤコブは父に近づき、自分の腕を、エサウのように父に感じさせるように母がつけた毛を触らせます。ヤコブは言います、、、失礼、いや、イサクはこう言います。これは私たち全ての聖書に下線が引かれ、あなたの心の板から消えないように書かれているはずで、イサクは言います。これは非常にゆるい言い換えです。

「私が感じているのはエサウだ。しかし、私が耳にする言葉はヤコブだ。」(創世記 27:22 参照)

イサクは聞いた言葉ではなく、感じたことに従いました。例として、それを描写する方法がわかりましたか？ それが彼らがしたこと。彼らは感情で動きました。それは幻であり、夢でした。それはレーマ、話される言葉でした。神は私に語りかけられ、それはロゴス(神の書かれた御言葉)の権威に取って代わりました。それが、彼らが神の権威と聖典の権威を拒絶する方法です。一旦、聖典の権威を認めなければ、そこで試合終了。光は消えます。あなたは一貫の終わり。大破滅です。それが何なのかはわかりませんが、深読みするつもりはありません。説教を終わらせる合図ではないのは確かです。まだまだあります。期待しない方がいいです。では、これを上げましょう。権威を認めないのは、自分たちを最終的な権威として

確立するためです。9節にある

2つ目：「誹謗中傷」とセットです。なんてこと。これは名誉毀損です。正直になりましょう。私たちは無実が証明されるまで、誰かを有罪として裁きます。さあ、「有罪が証明されるまでは無罪です。」違います。人間の本質、罪の本質、アダムの本質ではなく、たった1度でも虚偽の申し立てがあれば、2度とその人と同じに見ることはありません。なぜ？すでに有罪だと判断しているからです。必要なのは、たった1度の誹謗中傷だけです。これがユダがここで強調することで、大変興味深く、その理由は沢山ありますが、特に重要なのは、彼らが敢えてそうすること。ユダが引用した外典書「モーセの昇天」からの引用については議論があります。しかし、議論になったのはモーセのからだについてはありません。なぜユダはそれを引用し言及したのか？ 悪魔自身をさへ誹謗中傷する尊大な傲慢さについてだからです。大天使ミカエルでさえそんなことはしないし、そんな尊大さはありません。考えてみれば、誰かを非難し、何かを中傷するのは、どれほど傲慢ですか？ どれほど尊大ですか？ 尊大ってどういう意味かわかりますか？ 自分のことで頭がいっぱいで、プライド/驕りに満ちていること。濡れ衣を着せ、誰かを陥れることができると信じるほど傲慢です。それが彼らがすることでその理由だからですね？ どうやって自分たちを持ち上げるのか？ あなたを悪く言うことで。どうやって自らを持ち上げるのか？ ちなみに、これは補足ですけど、これを言うのにちょうどいい機会でしょうが、結婚関係において、このようなことは、こんにちの結婚生活で毎日何千回も繰り返されています。虐待やいじめに関しては、最後に見ます。しかし、彼らは自分を持ち上げるために妻を見下します。私はただ愛を持って、こう言いたいだけです。それは卑怯者です。それは自信のない臆病者で、まったく男らしくありません。男らしく、妻を愛してください。妻を中傷しないでください。抑圧しないでください。とにかく、それがどこから来たのかはわかりません。しかし、もちろん私の結婚についての話じゃありません。私は牧師ですから。完璧な結婚生活を送っているのは、私が完璧な夫であり、敬虔で、、、私、どうですか？ あまりよくないですね？ 後ろに稲妻が？ 私がそれを続けるなら、そうなります。ですから、どうかこれを見逃さないでください。ユダはこの非難と中傷の尊大さを再び強調するからです。中傷とは何か？ 使徒パウロによる書簡の中で、殺人と同レベルの行為としてリストに挙げられるのをご存知ですか？ ヤコブに、ヤコブに聞いてみてください。世の救い主の異父兄弟ヤコブに聞いた方がずっといいです。あなたは心に憎しみがあるなら、それが誹謗中傷に拍車をかけます。あなたはただ彼らに対して敵意を抱いていて、嫉妬することもあります。どうやって中傷するのですか？ あなたは彼らに濡れ衣を着せ誹謗中傷します。あなたは、その人が非難するような罪を、犯すことを知っているからです。おそらく

無実を証明するチャンスはないか、無実を証明する責任もありません。あなたは相手を非難することで、その舌で相手を滅ぼしたからです。実話を話すことができます。話したくありませんけど、ほんの一例として、どれだけの牧師の人生が台無しになったのでしょうか？ これは利己的ではありません。そう思われたいことを願います。どれだけの牧師の人生が台無しになったか？ たった一度の誹謗中傷のために。彼らの人格は破壊され、結局はミニストリーを去らざるを得ませんでした。立ち上がって神の御言葉を教えることができなくなったからです。みんなが彼を汚らわしい、腐敗している.... と見ているからです。空欄を埋めてください。

例：妻を殴る人。「おお、はい、聞かなかった？」おお、この言葉には気をつけて。特に霊的な言葉で表現される場合は。「おお、あの人のために何々を祈る必要があるんだ。君、聞いた？」それがわかりましたか？ 「何が起こったの？」「箴言 18 : 8」にもあるように、おいしい味がします。味があって、おいしい陰口の味を発展させます。こんな感じで、「聞いてない。何なの？」「うん、結婚生活に問題があるって聞いたよ。」「まさか。あの人たち？」「そう。彼らのために祈る必要がある。」ちょっと待ってください。次に私が、、、これを言う時、隣の人を見ないでください。今度、教会で彼に会ったら、私はこうなります。横目でじっと睨んで。「この偽善者め！ この汚い、腐った、臭い、ろくでなし。そうやって霊的に振る舞うなんて。」それは牧師でなければの話です。そんなひどい濡れ衣を着せられ、誹謗中傷された人物の教えの下に座れますか？ いいえ。無実が証明されるまでは有罪だからです。ところで、彼の無実が証明されるチャンスはもうありません。あなたはすでに裁判官であり陪審員であり、判決を下しているからです。：有罪。

ここで、この人物。冗談でしょ？ OK。もう1つ実話があります。同様に。もちろん言います。実話です。ある人物が、、これは再び、遠い遠い昔、はるか彼方の地で、まだ電話ボックスがあった頃。それほど昔のこと。クォーター（25セント）を入れて電話をかける時代。実話です。牧師は電話をかけなければならぬので、ポケットから25セントを出し、しかし、なぜかそのコインは彼の手から滑り落ち、ストリップクラブの前に転がっていきました。実話です。偶然にも、彼が牧会する教会の誰かが車で通りかかり、ストリップクラブの前で彼を見かけました。「なぜ？ おお、この男はストリップクラブに通っているんだな。」いいえ、違います。入院している教会の誰かに電話するために、25セントを探しているだけです。それいかが？ 今、「彼はストリップクラブに通っている」になりました。今、あなたは誹謗中傷を広め、彼に濡れ衣を着せ始めました。そして彼は起きて、彼は人知れず、、彼の心を祝福します。ちょっと利己的かもしれませんが。つまり、彼は心を注ぎます。彼は神の御言葉を教えるために1週間準備し、説教壇に立ち、自分の教会を見渡し、、、これをするとき、私はあなたを見ません。彼は何を見るのか？ 会衆のふて腐ったボディランゲージです。マジ？ 彼はなぜかと思います。彼はこの教えを準備するために心を注ぎました。人々が自分を見ているのを見ます。理由は？ 人々はこの誹謗中傷、非難を聞いたからです。これがユダが書いていること。どうやってこれ以上痛烈な表現ができるのかわかりません。そして、使うのが、、これは、ユダが余分な聖書文章と情報源「モーセの昇天」を引用した少なくともひとつの説明かもしれません。しかし、明らかにモーセのからだをめぐって実際に議論が起きました。ところで、ご存知、モーセの埋葬地をイスラエルの民に知らせることを神は決して許されませんでした。なぜかわかりますか？ ちなみにこれは追加料金なし。彼らはそれを礼拝したでしょうから。それは偶像崇拜になったでしょう。モーセは彼らの指導者で、解放者で、イエスの型だからです。彼らはモーセの埋葬地を礼拝したはずですが。ですから神は、「はい、ええ、わたしは知らせません。モーセがどこに埋葬されたかを知ることはできません。」ですから、明らかに霊的な領域で論争があったようです。ここで大天使ミカエルです。皆さん、これには手を出さない方がいいです。ミカエルは、たとえ悪魔であっても、天の存在たちを中傷したり非難したりしてはならないことを知っています。しかし、その代わりに主を自分と悪魔との間に置き、

「主がおまえをとがめてくださるように」(ユダ 1 : 9) と言いました。

気をつけてください。そういう者たちがいて、それは間違った教えで、「悪魔を叱責しなさい。」という。おお、マジ？ あなたは悪魔にはかいません。いえ、あなたと悪魔の間に主を置くのです。「主がおまえをとがめてくださるように」「主がおまえをとがめてくださるように」(ユダ 1 : 9)

時々、私は祈ります。主よ、彼をとがめてください。主は、「わかった。レ点。彼はとがめられる。」私が敵に抵抗すると、敵は逃げます。しかし、私は彼をとがめません。主が彼をとがめられます。自分のことを必要以上に高く評価し、悪魔そのもののような誰かを中傷さえるという傲慢さです。ここにいる誰か、ま

たはネットで見ている誰かのための言葉かもしれません。残りの時間は、10 節にあるこの 3 つ目に使いたいのです。これは非常に現実的で深刻な問題だからです。それは、いじめや虐待に関係します。ユダが書いたことのユダの書き方、その重要性を誇張することができるかどうかわかりません。しかし、虐待的ないじめに関して、ユダは核心をつきます。いじめがこの終わりの日を象徴する特徴のひとつであるのはわかりますが、私たちはその理由を理解したほうがいいと思います。いじめや虐待は、それが言葉によるものであれ、肉体的なものであれ、そして神が禁じる性的なものであれ、加害者を究極の破滅に導く悪の頂点です。10 節の最後に、ユダが書くように導かれたことに大変感謝します。これをする者は最後には滅ぼされると、はっきりと明言するからです。それを知って聖なる満足感を得ることは間違いではありません。彼らは自分たちのものを手に入れようとしているのだから。お付き合いください。これは非常に重要な原則だからです。敵はあなたにこれを聞かせたくありません。敵はあなたの心を他のことに向けさせようとします。私から言うことに、聖霊によって目を向け集中してください。サタンは、イエスが私たちのために死なれたことから目をそらさせるために、誰かが私たちにしたことや私たちについて言われたことに私たちを集中させようとします。彼らが私に何をしたかが問題ではありません。イエスが私のためにしてくださったことが重要です。これは決して、言葉や肉体的な、或いは神が禁じられる性的ないじめや虐待を軽んじることを意図していません。しかし、いじめや虐待を受ける側になったとき、神はご存知で解決されると分かると、心が落ち着きませんか？「詩篇 73 篇」の作者について考えます。他にも聖句がありますけど、

最後に「イザヤ書」の聖句で締めくくりますが、しかし、「詩篇 73 篇」の作者アサフは、非常に率直にこう書きます。本当に正直です。正直という言葉を使うのは気が進みません。人々がこう使う時、「正直になってもいいですか？」「待って。今までずっと私に対して正直じゃなかったんですか？ これから正直になるんですか？ これまでずっとあなたは正直じゃなかったんですか？」「正直になってもいいですか？」って わお、ずっと私に嘘をついていたんですか？」とにかく、話が脱線しました。それが気になります。「正直になってもいいですか？」私は、あなたがすでに私に正直だと思っていたのに、許可を得なければならないんですか？ もう締めくくりですから、この後、もっと気分が良くなります。と願います。が、待ってください。あなたはこう聞く必要がある？「正直になってもいいですか？」それって質問ですか？ 答えは何だと思えますか？ もちろん、正直になってもらって構いません。実際、あなたが私に正直になって欲しい。あなたが今まで私に正直でなかったように聞こえるからです。そうでなければ、なぜ聞くんですか？「正直になってもいいですか？」って。この件は、もうファイルを閉じるべきですか？OK。

「詩篇 73 篇」は、大変正直で、この信仰の危機について非常に率直です。なぜアサフは信仰の危機に陥ったのか？ 邪悪で悪しき異教徒たちが繁栄するのを見ているからです。ここでアサフは、まっすぐで正しく、そして、彼は苦しんでいます。アサフはこう言います。

「(私は)手を洗って 自分を汚れなしとした。」(詩篇 73 : 13 参照)

私は何のためにまっすぐ歩いているのか？ ここに悪しき者たち。彼が触れるものはすべて繁栄し、彼にとってすべてが素ン晴らしい。私は"素ン晴らしい"という言葉が好きです。私はここにおいて、私は人生の試練を経験しています。この男は人生を楽しんでいる。どうなっているんだ？ 実際、あまりにひどくて不公平だったので、アサフはこう言いました。

「キリストにある兄弟姉妹と話したくもありません。(私たちの時代に当てはめるなら、)私が彼らをつまずかせることになるから。」私は教会に行くのをやめた。理由は私が会話をして、正直になると、、、"正直になってもいいですか？"私が正直になれば、彼らは私の話を聞きます。今、私は"不平不満"という言葉を使いますが、霊的に聞こえるから牧師たちは"嘆き"を使います。つまり、アサフは本当に不平不満を言いません。アサフは神を疑っています。

「神よ、義はどこにあるのですか？ この悪しき者が栄え、正しい者が苦しむとはどういうことですか？それは正しくありません。おかしい。間違っています。」アサフは言いました。「私が誰とも話さなかったのは、自分がこのことで混乱しているから、誰も混乱させたくないからです。」それでアサフは何をするのか？「詩篇 (73 篇)」の最後に来ると、できるだけ早く「詩篇 (73 篇)」の終わりまで辿り着く必要があります。

「詩篇 (73 篇)」の途中で読むのをやめてはいけません。そうすると、あなたは信仰の危機に陥るからで

す。理由は、あなたはこんな感じで、「う～ん、これはどうしたことだ？」そして、アサフはこう言います。

「ついに私は 主（神）の聖所に入って（そこは行くのに良い場所です。）彼らの最期を悟った。」（詩篇 73：17）

それが彼らにとってどのような結末になるのか。ネタバレ注意。良い結末ではありません。ここでアサフは、彼らを羨ましく思う気持ちから、気の毒に思う気持ちに変わります。「おお～!私が本当に羨ましかったのは、彼らの人生は楽で、私の人生の困難、痛み、苦しみとは対照的でした。そして、私は彼らの最期を知り、おお、わお！ 彼らはそれを知っているんですか？ 誰かが彼らに伝えた方がいい。彼らはこれを見直したいと思うかもしれない。私はわかります。」突然、私は正気に戻りました。「OK。神よ、ごめんなさい。」ですから、私には選択肢があります。私は苦難の多い人生を生きる。「私たちは、神の御国に入るために、多くの苦しみを経なければならぬ。」（使徒 14：22参照）

私たちは、「使徒の働き」のこの1節が好きではないでしょ？ イエスは、「ヨハネの福音書」でこう仰います。「世にあっては苦難があります。」（ヨハネ 16：33参照）私はこの節が好きじゃありません。少なくとも、主はこう仰って欲しかった。「あなた方は世にあって、はい、もしかしたら苦難にあうかもしれません。可能性はあります。」と。違います。苦難があります。この世では、苦難、試練、苦しみ、過ち、不正、不公平があります。確認したところ、私たちは墮落した世に生きています。私たちはどこで道を踏み外し、どういうわけか栄光のこちら側で、信じ始めたのは、私たちは義と公正を手に入れることができること？

人生は公平ではありません。これを話すのは久しぶりです。それに新しい方々もおられます。はい、これは私がよく繰り返すことを繰り返すための前置きです。誰かが近づいてきて：「やあ、人生はどうですか？」

答え：「酷いよ!!! しかし、神は私に良くしてくださいます。」これはもう1つ他のです。完全情報開示。私たちの2人の息子が幼かった頃。「それって不公平だ。」それ、、5歳、6歳、7歳、8歳になると、あなたは言います。「OK。お前たちは子どもだ。」今、これは教えられる瞬間です。私たちは教えられる瞬間を迎えることとなりますよ。しかし、あなたが48歳でこう言っているのなら、「それって不公平だ～!」おお、ここで共感しましたか？ —（笑）— 人生は公平ではありません。ですから、私たちは子どもたちにこう教えました。この責任を取るべきか、それとも手柄となるか。あなたがどう見るかによってですけど。私は息子たちに歌を教えました。準備はいいですか？ 言いますよ。こんな感じです。♪世界は君を中心に回っていない♪ ♪人生は公平じゃない♪ ♪ぼんぼんぼんぼん♪ 世界は君を中心に回っていない♪ ♪人生は公平じゃない♪ ここでやめておきます。今では、彼らは20代になりました。その歌を覚えています。たまに聞こえてくるからです。妻にはそんなこと言わないでって言いますが、聞こえてきます。「人生は公平じゃないわ。」彼らはこんな風に、♪世界は...じゃない♪ 自動的に歌います。主よ、ありがとうございます。うまくいきました。残念なことに、私たちは未だに世界は自分を中心に回り、人生は公平だと期待します。違います。私たちは不当な苦しみを受けます。私たちはいじめやネットいじめを受ける側になります。ネットいじめが原因で命を絶った若者がどれだけいるかご存知ですか？ ネットいじめのせいで、どれだけの若者の人生が再び元通りにならないことか。つまり、これは私が証明できます。あまり時間をかけたくありません。が、少なくともこれだけは言っておかねばならないかもしれません。SNSの足跡から、私たちは何年にもわたって多くの視聴者やフォロワーを集めてきました。ありがたいことに、そのすべてを引き受けてくれる会社があります。しかし、時々、、、私たちにはスタッフがいて、目を通し確認します。私の目が必要なもの、注意が必要なものは、私のところに送られます。それがなかった時期もありました。私たちのSNSをする会社はなく、上がってきた全ての”もの”に目を通すスタッフはいませんでした。私が”もの”と言ったのは親切心からで、その多くは実に下劣で邪悪だからです。例を挙げましょうか？ 再度、このことがないのをお願いします。どうか誤解しないでください。私は、ユダがこの種の人々についてここで書く深刻さに共鳴したいのです。妻が非常に攻撃的な乳がんであることを私が公表したとき、神は私にそれをお見せになりましたのでしょけど、私はそれを探しませんでした。それが私を見つけました。私を探しました。SNS上で、誰かから「神がJD牧師を裁いている」というコメントがありました。うわ～ちょっと傷つきます。娘のノエルが亡くなったとき、これはネット上ではなく、面と向かってでした。実際、ある人が私に言いました。「あなたの娘のノエルが亡くなったのは、あなたの信仰心が足りなかったからです。あなたに十分な信仰があれば、神は彼女を癒し、彼女は生きていたでしょう。」おお、それは本当に傷つきました。ここで私は、

娘の死後、痛みと悲しみと嘆きに身悶えしています。それは虐待です。それは悪魔的です。それは非常に間違っています。ですから、再び、私は敬虔な人なので、「主よ、彼らをお赦してください。彼らは何を言っているのかわかっていないのです。」いいえ、そうは祈りませんでした。私が何を祈ったかは言いません。ご想像にお任せします。それは、、、とにかく、、、正直に祈りました。

「神よ～、あなたは彼らは何を言ったか聞かれましたか？ 彼らの投稿を見ましたか？」神は、「わたしはすべてを知っています。わたしは初めから終わりまで知っています。投稿される前から、彼らがそれを投稿することは知っていました。彼らが言う前からそう言うのは分かっていました。」「ご存知でしたか？」「はい。」「神よ、あなたは何もなさらないのですか？」「おお、します。わたしはします。」「いつですか？」「わたしの時に。今にわかります。」「いいえ、今すぐそうしてほしいのです。」それって、ヤコブ、雷の子じゃありませんでしたか？ 覚えていますか？ 人々がイエスのところに行って、イエスを受け入れなかった時を。彼らはこんなふうに、

「主よ、私たちが天から火をくだして、彼らを焼き滅ぼしましょうか？」(ルカ 9：54)

あなたが彼らに厳しくなる前に、「私はそんなことは絶対言わない。」いいえ、あなたは言います。そう、あなたは、、、私はいつも.....自分に話します。私はいつも自分を最も好意的に照らします。旧約聖書で、イスラエルの民が神に対して絶えずぶつぶつ、不平を言うのをご存じですね。「どうしてそんなことができるのか？」 どうしてそんなことができるのかって？ あなたもそれをしますって。「いいえ。私は絶対しません。」いいえ、あなたはします。新約聖書に早送りします。ペテロは、こう言ったのに3度否定します。

「私は主を決して否定しません。」(マルコ 14：31 参照) はい、あなたはきっと、10回は否定したでしょうね。

それいかが？ 私たちはいつも自分自身を照らします。「箴言」には、、、「対照的な箴言」で、「10代のため」と呼ぶのが好きです。13章、14章等々。次のような「対照的な箴言」があります。「正しい人はこうする。しかし、悪しき者はこうする！！！」 私はこんなふうに、そうだ！悪しきやつら！！！ 私は大変正しいから。違う！あなたは悪しき者だ！ あなたはそれをします。これでどこに向かうかわかりません。が、非常に意味深でした。戻ります。心配しないでください。少々時間を。再度、意味深でした。おお、はい！ で、(苦笑)私たちはこのいじめ、虐待を受ける側で、神は仰います。

「わたしはすべての言葉、すべての投稿を記録しています。」 SNS チームが下品な投稿を削除することがあります。投稿者は好んでしているとしか思えません。私の中ではこう言います。「いや、そのままがいい。」はい、なぜだかわかりますね？ それを削除することで、ほとんどないのと同じになります。ですから、私は神が最終的に下されることを邪魔するわけにはいきませんから。私は見せておきたい感じで、、、再度、聖別された方法で、聖別された満足感です。あなたが今言ったこと、あなたが今投稿したことに対して、神が最終的に下されます。非常に卑劣で、虐待的でした。あなたは虐待者です。それがこの人たちの仕事では？ なぜ彼らはそれをするのか？ 彼らは自分を持ち上げるためにあなたをいじめます。彼らはあなたを卑しめ、言葉で虐待します。なぜか？ 自分たちが最終権威だと9思い上がっているからです。彼らは自分のことでいっぱいです。それが真実ではないですか？ つまり、説明になりませんか？ 誰かが他の人にそんなことをしたり、そんなことを言うのが。高ぶり/高慢の極みです。高ぶり/高慢、傲慢、プライド/驕りについて話しました。これらはすべて同義ではありません。同じ家に住んでいますけど、同じ部屋ではありません。同じ仲間ですけど、意味は違います。彼らは非常に高ぶり/高慢で、自分のことでいっぱいです。彼らは、誰かにそれをやる機会と、言わば許可を自分たちに与えているからです。神は最後にユダに書かせられました。

「(本能で知るような事柄)によって滅びるのです。」(ユダ 1：10 参照)

「イザヤ書」で、締めくくりましょう。幾人かは、「イエスよ、ありがとうございます。締めくくりで。」20節と21節を希望を持って疲れた心、いじめられた心、誹謗中傷での不評まっすぐな人生に濡れ衣を着せられたことを励ますため読みたいのです。神が預言者イザヤを通して書かされたことを聞いてください。20節、

ーイザヤ 29：20ー

横暴な者はいなくなり、... (冷酷非情な虐待者は、もういない。) ...嘲る者は絶え果て、... (さよなら～) ...

よこしまなことを企む者はみな絶ち滅ぼされるからだ。

訳すと:わたしに任せなさい。あの冷酷な虐待者は消え去ります。あのあざけり、中傷し、濡れ衣を着せ嘲笑する者は消え去ります。これは興味深いです。

"悪に目を向ける者すべて" (イザヤ 29:20 参照)

私たちの言い方は、「彼らにはそのための目があります。あなたにはそのための目がある。」通常、それは良い文脈にあります。逆にしてみましょう。彼らは善ではなく悪のための目がある。彼らにはそのための目がある。21節では、この冷酷であざけり、邪悪な人々についてより具体的に書かれています。彼らは誰なのか？

—イザヤ 29:21 —

彼らはことばで (聞いてください。) 他人を罪に陥れ、...濡れ衣を着せる。

無実が証明されるまでは有罪です。その一言で、一言で人を滅ぼせることを知っています。一言です。彼らの人生、ミニストリー、家族、結婚、子供たちを滅ぼせます。その一言で。彼らはことばで他人を罪に陥れ、... (イザヤ 29:21) それがその者です。まだあります。

...城門で戒めを与える者に罫を仕掛け、正しい人を、理由もなく押しつける。

なんてこと。これで元に戻りました。神の御言葉というどちらからも切れる両刃の剣に戻ります。あなたはこれを受ける側ですか？ では、心を強くしてください。あなたは加害者ですか？ 気をつけなさい。神はすべてを記録し、あなたはすべてについて申開きをせねばなりません。あなたは自分のしたことすべてに報いることになります。考え始める前に、、、私は今、何が起きているのかを知っているからです。ある人々が頭に浮かんできます。ええ〜彼らが誰だかわかりますね。再び、誰のことも見ません。頭に思い浮かんできます。「ええ、彼らは申開きせねばならない。」ちょっと待って。私たちもそうです。結局のところ、私が不当な扱いを受けたかどうかではありません。私が不当に扱ったのか、です。私は自分のしたことについて申開きせねばなりません。私が話したすべての言葉、私がしたすべてのこと。しかし、ここに良い知らせがあります。勇気づけられます。理由は、、、どうなるか分かりません。説明を聞いたことがあります。全てがプロジェクターで映し出されます。私のが映されるときに、あなたがそこにいないことを願います私もあなたのためには立ち会いたくありません。私の唯一の慰めは知っていることで、ヨハネが言うように、天国では、肉にしたがって人を知ろうとしません。嬉しくないですか？ それは人々が誰であるかを知ることにもなります。理由は、よく受ける質問で、私たちは天国で互いに分かるのですか？ 私が気に入っているのは、ある人が、、、これは私の答えではありません。が、ある牧師はこう答えました。もちろんそうです。天国ではこれ以上愚かにはなりません。もう1つだけ入れたかったんです。しかし、もちろんお互い分かります。でも、この地上にいた時の肉だった時のことを知ることはできません。私たちはそうなりません。これは、、、私は本当に頭が悪いのですが、ただ、こんなことを考えます。誰が誰だかどうして分かるんですか？ 私は、、、会いたい人が何人かいますけど、名札をつけて欲しいのです。「こんにちは、ノアです。」いいえ、誰がノアなのかは分かります。「あれがノア、あなたがノア？」説教は終わりです。私たちは分かるのです。パウロ、ペテロに会うのです。ペテロは大変長い列になりますよ。列に並んで待ちます。私は、全員がペテロに謝まらねばならないと思います。特に牧師たちは、ペテロについて多くの説教での対象にしたこととか。実際、火曜の夜、ペテロについて話しました。彼は多くの不必要な、、、多くの間違った結末の説教にされます。私も同じような罪を犯してきました。私はペテロに共感します。私の心になつた人物です。無神経でしょうけど。ですから、心を強くして、しかし注意してください。神は私たち全員に申し開きをされ、その1つ1つに責任を問われるからです。イエスはそこにおられます。スクリーンに映っていても映らなくても。その必要はないのかもしれませんが。もしそうなら、私のは大変長くなりそうです。シリーズのように、いくつかのシーズンやエピソードがあって見せられます。しかし、その1つ1つにイエスは言われます。完済。完済。完済。完済。無罪。無罪。ありがとうございます!

しかし、ある者たちには、イエスはそんなことは仰いません。有罪確定。有罪確定。有罪確定。OK。おしまいです。

最後に1つだけいいですか？ カポノ、上がってきてください。ご起立ください。なので、最後にしなければなりません。再度、利己的にならないことを願います。私には神が、、おられると言うべきじゃないです。神はこの点で、私の心に本当に取り組んでおられます。私はここにいて、的のようになっているからで、特に、「聖書預言・アップデート」に関してで、特に、「聖書預言・アップデート」が特定の真理で、それが非常に信じられず、彼らは信じられません。それが人々が嘘を信じる理由です。特定の真理が非常に信じられないからです。ですから、私はここに上がり、信じられないようなことでも真実を話さねばなりません。そしてそれは、人気がありません。特に最近では。ですから、私はあらゆることでこう呼ばれてきました。「チーズがクラッカーから滑り落ちた。」とか。それは、私がチーズとクラッカーが好きだからです。ですから、私はその件には腹を立てていません。食べ物を扱い始めたら、それは問題です。

「彼はイカれてるんだよ。」私はキリストにイカれてると思います。「いや、彼は狂っている。彼はおかしくなったんだ。」おそらくそれは事実です。しかし、ここで失墜になります。「彼は全ての信用を失った。」おお、OK。私の定番/お気に入りには、「ユダ書」「イザヤ書」「詩篇73篇」上記全て。神よ、私は正しい側にいるのは分かっています。それは真理です。驚くべきじゃないと思うのは、私がこの最後に受けとる側であること。最終的にそうなることを知ると、非常に勇気づけられます。私の人格を攻撃しようとした者たちは、

そして、信用を失墜させようと尊大さを持つ者たち、特に同僚の牧師に.....私はそんなことはしません。わかりますね？ 私が他の牧師をバッシングするのを聞いたことがありますか？ 私はそんなことはしたことはありません。もしあったら、どうか許してください。しかし、私は自分を上げるために、故意に他人を貶めようとしたことはありません。私は自分を過小評価しようとする手段を尽くします。私は大変自虐的です。時にそれは人々にとって不快です。自分に厳しすぎると言われたこともあります。それに対して私は、あなたにはわからないと答えます。おお、そんなに自分に厳しくしないでください。違います。自分に厳しくする必要があります。私は自分の能力を過剰に補う以下の能力が十分あるのがわかるからです。得意になって、そうしているうちに他人を見下して傲慢になる。結局、絞首台に突き刺されるのは自分自身です。誰かのために掘った落とし穴に落ちるのは自分自身です。あなたが誰かに転がそうとしていた岩や石が、あなたの上に転がることになります。ですから、気をつけてください。これで終わりたくありませんけど、私は締めくくると言いました。ですから、終わらしましょう。元気を出してください。受け手側として心を強くしてください。神が最終的な言葉を下されます。神に任せてください。元気を出してください。重く受け止めすぎず、心を強くしてください。祈りましょう。

天のお父様、ありがとうございます。これは厳しかったです。少し個人的なことですが、主よ、大いに必要です。ユダがこの御言葉を書くよう導いてくださり再度感謝します。これは、現代の私たちに向けて語られた言葉です。特にこんにちのような世では。誹謗中傷のいじめ、虐待、濡れ衣を着せられること、キリストの体全体の分裂、おお、それはあなたの心をどれほど悲しませることでしょう。主よ、どうか私たちを赦し、彼らを赦してください。主よ、感謝します。最終権威として決定権ある御言葉をご用意くださりありがとうございます。イエスの御名によって、アーメン。

---

メッセージ by JD Farag 牧師カルバリーチャペルカネオヘ

<http://www.calvarychapelkaneohe.com/>

Calvary Chapel Kaneohe 47-525 Kamehameha Hwy. Kaneohe, Hawaii

筆記 hukuinn7